つぎなにプリント56

じゅぎょうがにがてなぼくは、ある日とんでもないまほうがつかえるようになってしまった。

それは、手をたたいた数だけ、むかしにもどれるまほうである。

手を1かいたたくと、1ふん前に。

手を2かいたたくと、2ふん前にもどれるのだ。

このまほうをつかってぼくは、じゅぎょうであてられて、こたえられなくても、手をたたいて、むかしにもどり、正しいこたえが言えるようになった。

ちょうしにのったぼくは、どんどん手をたたいて、むかしにもどり、クラスのみんなからは天才とよばれるようになった。

だが、じけんはおきた。

それは、そつぎょうしきのはくしゅのれんしゅう。

正しいはくしゅをするれんしゅうのときであった。